



生死

新井俊一



今年の4月からNHKラジオの語学放送で、ドイツ語と中国語を学んでいるのですが、先日中国語の先生が面白い文を紹介しました。弘法大師空海(774-835)の言葉で、以下の通りです。

「生生生生始暗、死死死死終暗」。(生まれ生まれ生まれ生まれ生まれる始めに暗く、死に死に死に死に死ぬ終わりに暗し)。

この言葉は表面上は、私たちは久遠の昔から生き死にを繰り返して、今後も永遠に生き死にを繰り返すであろう、という、いのちの永続を言っていると思われ。しかし仏教的観点から言うと、私たちは皆、久遠劫の昔から生死を繰り返してきて、ずっとその間、迷いの生活をしてきた。もし仏法に出遇わなければ、これからも無明のいのちを永遠に生きることになる、という意味になります。

『教行証文類』で親鸞聖人は「大海のように広大な数の衆生はすべて、無始の昔から今日この時に至るまで、煩惱と穢れに満たされ、清らかな心は全くなかった。嘘偽りばかりで、真実の心はなかった」とおっしゃっています(『信巻』、『浄土真宗聖典(註釈版)』p. 231。現代語訳は新井)。

生死輪廻の教えが仏教だと思っている人が多いです。しかし仏教は生死の生から解脱させていただく道なのです。もっとも、生と死の繰り返しは本当に物理的に起こるのだ、と言うのも正しくはないでしょう。もしそうなら、自分の生まれる前の状態はどんなだったか、その前はどうか、

11月の予定

- 5日(土) 10-4時 英語セミナー
グレゴリー・ギブス師
オレゴン仏教会
- 6日(日) 10時 永代経・無縁法要
ご法話 グレゴリー・ギブス師
10時45分 日本語プログラム
- 11日(金) ベテランズ・デイ事務所休み
- 13日(日) 10時 家族法要
10時45分 日本語プログラム
- 20日(日) 10時 家族法要
10時45分 日本語プログラム
- 24日(木) 感謝祭 事務所休み
- 27日(日) 10時 家族法要
10時45分 日本語プログラム

とか、次の生にはどうなるのだろう、といったことを心配しなければなりません。そういう考え方は、サイエンスフィクションの分野に属します。仏法に出遇わないで、世俗のことに100パーセント心を奪われている人は、自分が今まで迷いの生を生きてきてこれからもそれが続くであろう、ということにも気がつきません。仏の智慧（本願）に出遇ってはじめて自分が迷い・無明の生を生きてきたこと、それからもし仏智に出遇わなければ、この迷いの生が永劫に続く、ということに気がつくのです。言い換えると、本願は、私たちの無明と同じだけ古いのです。だから、親鸞聖人は、自分を無明の闇から引き出してくださった法然聖人を讃えて次のようにおっしゃっています。

曠劫多生（こうごうたしょう）のあひだにも
出離の強縁しらざりき
本師源空いまさずは
このたびむなしくすぎなまし
（『高僧和讃・源空讃』101）

現代語訳

久遠劫の昔から私は無数の生死を繰り返してきたが
生死を解脱させていただく仏の願いには目覚めなかった
もし真の師源空聖人がいらっしやらなかつたら
今回の生もまた無駄に終わってしまったことであろう

新井先生に許可を頂き転載させて頂きました。（11・6・2009 投稿）
先生の略歴：相愛大学名誉教授、文学博士（ハワイ大学）、浄土真宗本願寺派教師。

健康管理

血圧 130、コレステロール 220（オッ）コロノスコピー（ハイ）これらが私たちの健康バロメーターです。人生のうち何度かそのデータを見る機会があります。日曜法要に出席される門徒の方々（英語・日本語）お念仏の勉強のダーマ・スクールの子供たち、そして現在のアクティブなお寺のメンバーがシアトル別院の健康を表示しています。理事会のメンバーは毎年こういうお寺の健康点に気をつけています。毎年、プログラム計画の予算を組み、常任の開教師がそのプログラムに対しいつでも対応でき、別院の建物を維持しています。私たちは幸運にも110年にわたり素晴らしいメンバーがリーダーとなりついで来ました。私の構想としては次の100年のポジションです。別院の将来について熱望と信念を持った明日のリーダーが実現させます。そこにたどり着くには、新しいリーダーたちはサンガと共に共有のゴールをもち、将来に向け繁栄する必要があります。お寺のリーダーを見つけるのは、スカウト、CF、KSP、ちびちゃん、ダーマ・スクール、婦人会、ABA、JR・SR・YBA、クワイアー、太鼓やほかのまだ出来ていないグループからでもあります。私たちを一つのところにより合わせる基盤を作ってください別院を忘れないで下さい。今すでにその才能や素質をもった方がいます、待ってないで下さい、その時は今です。

合掌 森ポール、別院会長



ABA ニュース

ハワイのマウイ太鼓の歴史と家族を描いたドキュメンタリー“*My Great Grandfather's Drum*”（英語）の映画鑑賞がABA主催でおこなわれます。11月20日12時より。このフィルムは今年の秋祭りでも上映されました。またこの映画の製作者が当日出席され質問などに答えられます、同時にDVDを販売し、その利益はマウイ太鼓、浄土真宗センター、ジャパン・リリーフに寄付されます。当日は3ドルの寄付をお願いしています。映画の内容は、マウイの太鼓グループがお盆で家族の伝統の曲を演奏、その後祖祖父の里福島を訪れそのつながりを再確認する心温まるストーリーです。ぜひ皆様ご出席ください。



12月11日別院総会

11時より本堂にて。皆様のご出席をお願いします。
各部、各団体の活動・会計報告。別院の2011年の予算の提示と承認。
新任理事の発表。ほか。

音楽法要

第三回家族音楽法要が感謝祭週末11月27日（日）に営まれます。皆様のご出席をお願いします。プログラムにはウクレレ・グループがおなじみの曲をリードします。クワイアーは日本からの新曲を披露。ダーマ・スクールを含む、各世代の、アンサンブルが参加します。当日はぜひ遅れないようにお参りください。

会員部より

今月も英語部に会費お支払いの方のお名前があります。この方々は2010年の維持会費をお支払いになった方々です。70才以上は\$250（\$500ご夫妻）、70才以下は\$300（\$600ご夫妻）です。これは別院の維持に対しての最低額になります。ありがとうございます。

婦人会便り

会長のメッセージ

八幡静江

9月16日（金）、婦人会会員4名（新宅フラン、清水和美、寺田鈴子、谷野テリー）と八幡静江が、オライオンセンターに集まるホームレス青少年達の食事を準備、サーブされました。能率的な準備と指導をして下さった新宅フランに感謝致します。

10月8日（土）、サンノゼ、加州に於いて催された米国仏婦連盟代表者会議に中野ジョーン、加藤ジョイス、そして八幡静江の三名が出席しました。

2012年度の米国仏婦連盟大会は、2012年10月12日ー14日の3日間に亘って、サンノゼのダブルトリーホテルに於いて開催されます。

麻植テッシの指導の下に接待部員（テッシ、道堂原芳枝、須黒ノリ、並びに田妻美代子）の方々が多忙な日常にもかかわらず、別院にいらっしゃるご講師の先生方の為に、別院ラウンジを清掃、準備され、日曜日の朝には茶菓の接待をして下さっております。ご婦人方どうも有難うございます。



活動部

11月2日(水) 午前10時より12時迄、2012年度のヘルスケアとプリスクリプションの変更に関して、SHIBA ボランティアの清水チョウ氏が説明会を持たれます。興味有る方はこの説明会に出席される前に自分のメディケアーに関する質問を用意しておいて下さい。この説明会には別院会員並びに一般の方も参加できます。登録用紙は別院事務所前の掲示板に有ります。

11月予定行事

- 2日(水) メディケアー変更に関する説明会
- 6日(日) 婦人会理事会
- 20日(日) 婦人会総会、並びに総会直後に婦人会理事慰労会
- 22日(火) 午前10時、婦人会に依る年末シアトル敬老訪問、
午前10時半 月例お参り
- 27日(日) 婦人会理事会(12月分)

通信書記(日) 新保エツ提出

日本の行事

文化の日 11月3日

「自由と平和を愛し、文化をすすめる」という趣旨の国民の祝日。
1946年(昭和21年)のこの日に日本国憲法が公布されたのに因んで、
1948年(昭和23年)に制定された。



勤労感謝の日 11月23日

「勤労をたっとうび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう」趣旨の国民の祝日。
1948年(昭和23年)制定。この日は戦前は、「新嘗祭」という祭日でした。
新嘗祭は収穫祭でしたが、戦後、広く生産・製造などすべての成果を喜び、祝い、感謝し、働くことの大切さを認識する日として、「勤労感謝の日」になりました。

日本語法要・プログラム予定

- 11月 6日(日) 日本語プログラム ビデオ法話 廣田デニス師 「愚禿親鸞」
- 11月13日(日) 日本語プログラム ビデオ法話 小杭好臣総長 「立ち返る道」
- 11月20日(土) 日本語プログラム ビデオ法話 九条英淳師 「空しい私達の言葉」
- 11月27日(日) 日本語プログラム ビデオ法話 南條了瑛師 「仏法を聞くとは」
- 12月 4日(日) 日本語プログラム ビデオ法話 小杭好臣総長 「本願を聞く」
- 12月11日(日) 別院総会開始11時のため日本語プログラムなし
- 12月18日(日) 別院大掃除のため日本語プログラムなし
- 12月25日(日) 別院すべての法要取りけし